

## 市民参加事業

H28.10.23 市民フォーラム

H29.6.3 事業紹介展示

H29.10.21 公開ワークショップ

# 市民フォーラム(平成28年10月23日開催)報告

## <実施概要>

**市民フォーラム**  
**未来の憩いの広場、市民ホールを考えよう**  
 ～新しい複合施設を目指して～ **入場無料**

平成 28年 10月 23日 日 14:00 (開場 13:30)  
 市民会館 小ホール (苫小牧市旭町3丁目2番2号)

■ プログラム

第1部 講演 (14:00～15:20)	第2部 パネルディスカッション (15:30～16:40)
<b>公共施設の役割</b>	<b>複合施設の市民ホールが目指すもの</b>
講師 <b>衛 紀生氏</b> (可児市文化創造センター ala 館長兼 劇場総監督)	パネリスト <b>衛 紀生氏</b>
プロフィール 可児市文化創造センター ala 館長兼 劇場総監督 十数地域の自治体文化行政に関わる一方で、文化庁などで多数の委員を務める	<b>岩倉 博文氏</b> (苫小牧市長) <b>黒岩 真美氏</b> (市民ホールワーキンググループ 部会員) <b>山口 勝次氏</b> (市民ホールワーキンググループ 部会員) コーディネーター <b>森 傑氏</b> (市民ホール建設検討委員会 委員長)

■ 参加申込み  
 直接申込み先までお越しいただくか、電話・FAXで氏名・連絡先(電話番号)・参加人数をお伝えの上お申し込みください  
 右のQRコードからWebページ(<https://www.harp.lg.jp/FTS03je>)にアクセスしてもお申し込みが可能です  
**【申込み締切: 10月17日】**

■ お問い合わせ・申込み先  
 苫小牧市 市民生活部 市民ホール建設準備室 TEL: 0144-32-6071 | FAX: 0144-32-4322 | e-mail: hal-junbi@city.tomakomai.hokkaido.jp  
 場所: 市役所4階(北海道苫小牧市旭町4丁目5番6号)



### 可児市文化創造センターala

全ての市民に開かれた「公共劇場」を目指し、社会福祉政策と連携した取組や積極的なアウトリーチ活動を通して、社会包摂・地域貢献の拠点としての劇場を实践する。



館長兼劇場総監督

**衛 紀生氏**

えい きせい

可児市人口 : 100,664人(H27.4.1)  
 年間来館者数 : 321,938人(H27年度)

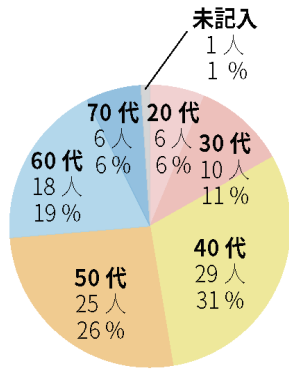
## <講演のポイント>

- 税金で設置する公共劇場は、文化芸術と社会課題を対応させた取組を行う必要がある**  
 alaの大きな特徴は、劇場を社会包摂拠点として捉え、文化芸術活動を通じて地域の人々をケアしている点である。例えば、福祉連合会と連携し、子連れの家族を集めて親子同士や参加者同士の絆を深める演劇ワークショップなどを行っている。税金で設置する公共施設は、単に主催事業を実施していれば良いわけではなく、劇場が担うべき社会的責任を果たさなければならない。
- 常識を打ち破ることで、文化芸術から縁遠い市民もリピーターへと転換できる**  
 市民にとって劇場は何ができるかを常に考え、その実践のためには既存の常識に縛られてはならない。例えば、alaではチケット割引においても独自の改革を行っており、DAN-DAN チケットという取組では当日券を半額にするサービスを行っている。当日であれば悪い席に当たる確率も高くなるので、観客の合理性を考えれば自然な考えである。既存の常識を打ち破ることで、文化芸術から縁遠い市民も劇場のリピーターへと転換できる。
- 市民やまちにとっての価値を追及した取組を徹底的に考え、実践することが重要である**  
 「あそこは特別だから(自分たちの施設ではできない)」と言われることもある。しかし、alaが特別なことをしているわけではなく、徹底して市民やまちにとっての価値を追求した取組を行っているだけである。市民・まちにとって公共劇場が果たすべき役割を真摯に考え、着実に取組へとつなげる姿勢が重要である。

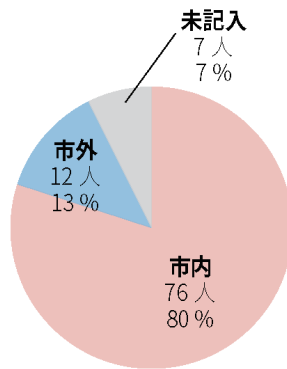
<参加者データ>

参加者数：約200名

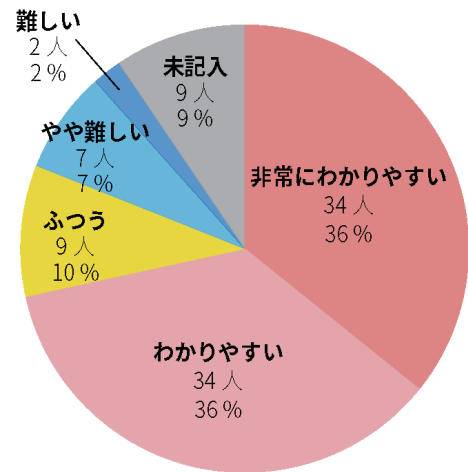
アンケート回答者数：95名



年代



住まい



講演内容

自由記述抜粋 (市民フォーラムで印象に残っていること)

衛紀生先生の講演を再度拝聴したい (50代男性)。ala を知れて良かった。ぜひ苦小牧でも活かしてほしい (30代女性)。公共施設の問題が変わったような気がしています (50代男性)。衛館長の話は興味をひかれるものが多くあったが、一面性のみを伝えられても困る。積み残している手の回らない物についてもお話しいただけたら良かった (40代男性)。今日の参加者だけで聞くにはもったいない もっとたくさんの方に聞いてもらいたかった 目からウロコです 見方を変えます (70代女性)。

<当日の様子>



第1部 衛氏による講演



第2部 パネルディスカッション

## 事業紹介展示(平成29年6月3日開催)報告

### <実施概要>

開催日時 : 平成29年6月3日(土) 10:30~18:30

開催場所 : イオンモール苫小牧  
1階ウエストコート内特設スペース

### 実施内容 :

- ・ 基本構想・基本計画、建設地に係る市の考え、市民ホールが目指すサードプレイスについての説明パネルの展示
- ・ 事業アイデアのパネル展示と来場者の気に入った事業アイデアへのシール投票
- ・ 現市民会館周辺の模型展示
- ・ 来場者へのアンケート

### <事業アイデアへの関心>

ワーキンググループ及び検討委員会での議論をもとに作成した63の事業アイデアについて紹介するとともに、来場者の関心の傾向とその理由を把握しました。

事業アイデアは「育てる」「集う」「知る」「関わる」「つなぐ」という5つのコンセプトに分けられますが、関心の高かったアイデアはこのコンセプトの全体に渡っており、特に子どもと大人が共に楽しめる事業に関心が集まりました。また、「食」も文化であるという考え方に共感が得られました。



### 関心の高かった事業アイデアと意見抜粋

#### 「手作り食堂 in 市民プラザ」 : 134 枚

地域の方々や子どもたちがスタッフとして主体的に参画することのできるレストラン

- ・ 料理教室に興味がある。教えてもらえる。
- ・ 市民会館で働いているが、こういう食堂があったらいいと思う。

#### 「子どものわくわく社会見学」 : 100 枚

子どもや子連れの家族の気軽な施設利用を目指した、子どもを対象とした職業体験等のイベントの実施

- ・ 小さな子どもでも勉強になるし、いろいろな体験ができるし、素晴らしいと思う。必要性がある。
- ・ 子ども目線の取組がいいと思う。

#### 「苫小牧の味を守る会」 : 89 枚

苫小牧のソウルフードを市民みんなで調理し、楽しみながら伝えていく市民団体

- ・ 料理教室で教えてくれるとよい。みんなで一緒に作れると嬉しい。家族にとって良い。
- ・ 苫小牧独自の味があったらいいんじゃないか。

#### 「ソロデビューへの道」 : 86 枚

文化・芸術活動を趣味で行う市民に講習会・個展・発表等の機会を提供するプログラム

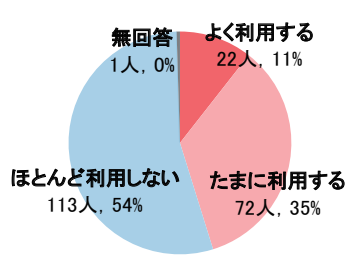
- ・ 習い事をしていても、ホールの舞台に立てるような機会がないので、そういう機会は欲しい。

## <参加者データ>

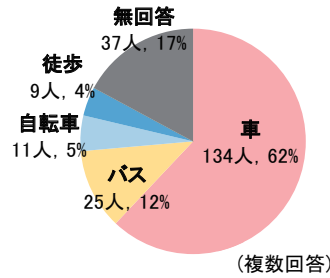
参加者数 : 約 **600** 名

アンケート回答者 : **233** 名 ( 市内 **208** 市外 **25** )

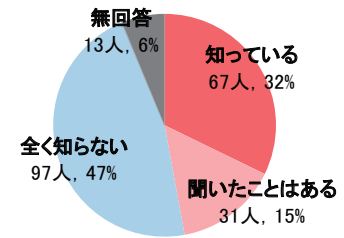
※回答者のうち市内の208名を対象に集計・分析



市民会館や文化会館の利用



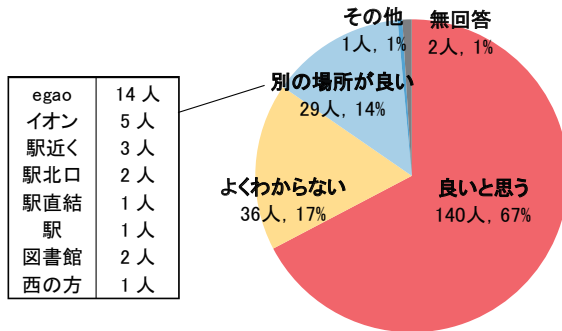
交通手段  
(複数回答)



市民ホール建設について

### 建設地について

検討項目とともに、市の方針を説明しました。  
67%の方から、市の考えである現東小学校敷地に賛成との意見が得られました。



市の考えに対する意見

### 市民ホールに望むことについて

飲食スペースや遊び場の意見が多く、その他の意見としては集会スペースを望む意見などが見られました。

作ってほしいもの	回答者数
飲食スペース	135人
図書コーナー	68人
遊び場	81人
談話スペース	39人
その他	14人
- 集会スペース	5人
- くつろぎの場	4人
- 運動スペース	2人
- オープンスペース	2人
- 緑のスペース	1人

(複数回答)

新しい市民ホールに作ってほしいもの

## <当日の様子>



シールによる投票



模型の展示



来場者への説明

## 公開ワークショップ(平成29年10月21日開催)報告

### <実施概要>

開催日時 : 平成29年10月21日(土) 14:30~17:00  
 開催場所 : COCOTOMA ラウンジ  
 実施内容 :

- ・ 基本構想・基本計画、市民ホールが目指す“サードプレイス”についての説明
- ・ ワークショップ
  - 第一部 新しい市民ホールで行う活動の検討
  - 第二部 その活動ができる場所の検討
- ・ 事業アイデア・サードプレイスの説明パネル展示
- ・ 現市民会館周辺の模型展示
- ・ 参加者へのアンケート



### <参加者データ>

参加者数: 23名

#### ●ワークショップ参加を通じて今後してみたいこと

回答	人数	割合
家族や知人にワークショップの内容を伝える	19人	83%
市のHPにアクセスし、これまでの検討内容を確認する	4人	17%
ワークショップで知った施設について調べてみる	3人	13%
特になし	3人	13%
その他	0人	0%

(複数回答)

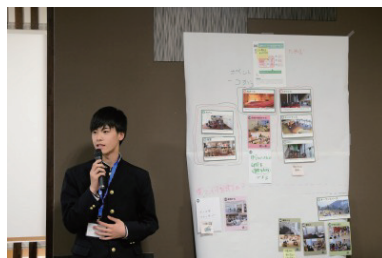
#### ●新しい市民ホールに作ってほしいもの

回答	人数	割合
駐車場を広くしてほしい	14人	61%
子どもが遊べる空間が欲しい	8人	35%
カフェや軽食をとることができるスペースが欲しい	18人	78%
勉強や読書ができるスペースが欲しい	16人	70%
その他	3人	13%

(複数回答)

#### ●参加者の感想

- ・ こういう話し合いはあまり参加したことがなかったし、自ら意見を出すこともあまりなかったから、参加してよかった。(10代, 女性)
- ・ 税を出す人が減っている中、自分以外の方がどれだけよく思うのか大事なんだって思いました。(10代, 男性)
- ・ 中高生がたくさん参加していたことが印象に残りました。色々な世代の方が、求めているもの、場所が違うことに難しさを感じました。(20代, 女性)



## <ワークショップの概要>

はじめに、これまでの検討経緯を紹介するとともに、市民ホールが目指すサードプレイスについて説明がありました。次に、二部構成によるワークショップでは、3つのグループに分かれて議論を行いました。第一部ではいくつかの事業アイデアを紹介し、そのアイデアの課題や発展性について話し合いました。第二部では、具体的な事業アイデアを実施する際の諸室やその設備、雰囲気などについて議論しました。最後に参加者が主体となって発表を行い、事業アイデアのイメージを共有しました。

### ●各グループの議論内容

#### Aグループ

**第一部** 市内全域で文化芸術活動を推進するための事業アイデアについて議論が交わされました。実情として市域形状により、中高生が気軽に訪れるのは難しいという意見がありました。一方で、ポイント制の導入により、多くの市民の関心が高まるのではないかと意見もありました。

**第二部** とまチョップポイントに関する事業アイデアをもとに議論を行いました。まず、ポイントを貯める場所として、人々が訪れやすいロビー、カフェ等に加え、SNS への投稿でポイントを貯めるアイデアが出ました。貯めたポイントは食堂や練習室、交通機関の利用にも使えろと良いという意見がありました。

#### Bグループ

**第一部** 既存施設の良い部分と、今後新たにやりたいことについて意見が交わされました。中高生や市民が気軽に訪れることのできるカフェやモノづくりを応援する仕組みなどに期待が寄せられました。ホールの規模なども含め、人が集まる仕掛けへの関心がみられました。

**第二部** モノづくりの場とカフェについて具体的に議論しました。世代を超えた交流や友達と一緒にすることができるよう、周りの部屋と一体的に使われ、外から活動が見える開放的な空間にしたいという意見が出ました。また、カフェはついで利用で気軽に入ることのできる雰囲気、他の活動とつながる情報発信の拠点となることが望まれました。

#### Cグループ

**第一部** 各学校の枠組みでは叶わないような機会や設備の提供という面で新しい施設への期待が寄せられました。また、異分野に関心のある市民同士が集う施設において、専門性の確保と共用、共有する意識の双方が必要になることが指摘されました。

**第二部** 子どもの活動を支える事業に対し、仕切りを自由に移動できる多目的室や、多くの人が集まって意見を言い合える場所などの必要性が挙げられました。また、通りがかった人が関心を持つような部屋のつくり方の提案がありました。更に、食堂、トイレなど施設全体での情報発信の可能性が見出されました。







# 利用団体への アンケート結果

## 利用団体へのアンケート結果

### ① 調査目的

基本計画策定に向けて、現在の文化芸術活動の活動内容の実態及び市民文化系施設の利用状況の把握を目的に、利用団体へのアンケートを実施しました。

### ② 実施概要

方法：苫小牧市文化団体協議会（文団協）に所属する 167 団体へ郵送及び文化会館を利用するサークルに手渡し

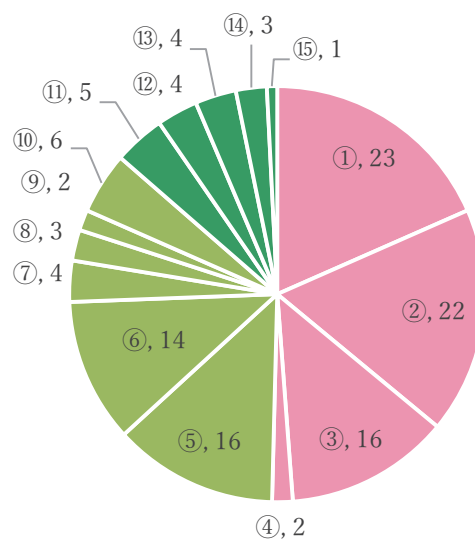
期間：平成 28 年 6 月 1 日～平成 28 年 6 月 23 日

項目：活動内容・活動頻度・利用施設・利用人数・施設を利用する理由など

回答：125 団体

### ③ 回答団体の属性

鑑賞	①邦楽(舞踊・和楽器・民謡等)	23	
	②楽器演奏(中高吹奏楽部・ブラスバンド部等)	22	
	③合唱	16	
	④演劇	2	
	小計	63	
活動	⑤ダンス(フラダンス・HIPHOP・バレエ等)	16	
	⑥文芸(俳句・川柳・短歌・文学)	14	
	⑦手芸・工芸(ステンドグラス等)	4	
	⑧外国語(英会話・ロシア語・韓国語教室等)	3	
	⑨ヨガ	2	
	⑩その他(郷土文化研究会等)	6	
	小計	45	
	展示	⑪茶道・華道	5
		⑫書道	4
		⑬陶芸	4
⑭写真		3	
⑮絵画		1	
小計		17	
合計		125	



回答団体の属性

#### ④ 活動内容ごとの利用実態

活動内容を発表会・展覧会、定期練習・定期活動、会議の3つに分類し、それぞれの利用頻度、利用時間帯、利用諸室、利用人数を把握します。

##### ● 利用頻度

定期練習・定期活動は週1回以上、月1回以上の頻度で実施している団体が多い。一方、発表会・展覧会は年に1回以上の頻度で実施する団体が多い。会議を行う団体は少なく、その頻度は団体により異なる。

##### ● 利用時間帯

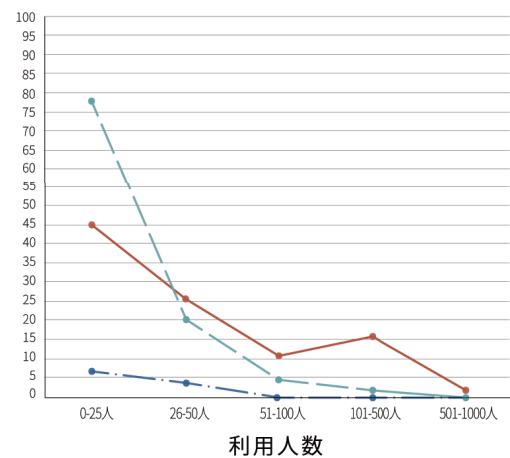
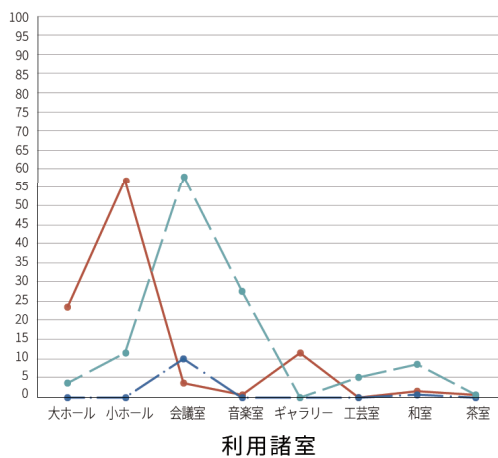
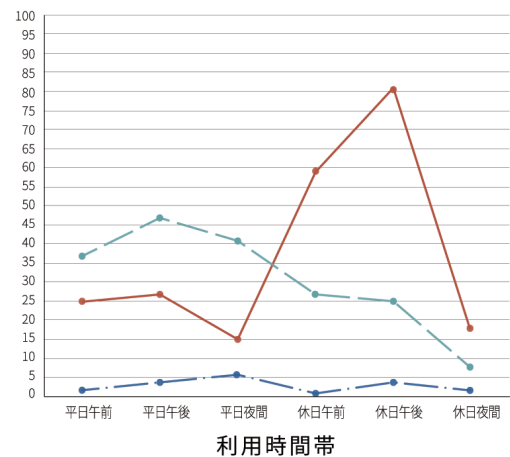
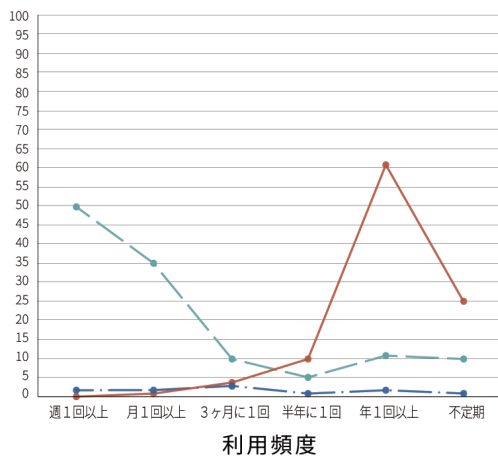
定期練習・定期活動は休日よりも平日行う団体が多い。一方、発表会・展覧会は平日よりも休日に行う団体が多く、夜間以外の時間帯で行う。

##### ● 利用諸室

大規模なホール(501席以上のもの)に比べ、小規模のホール(500席以内のもの)の利用が多い。定期練習・定期活動では会議室を利用する団体が多い。

##### ● 利用人数

全ての活動内容で0-25人の規模で活動する団体が多い。しかし、発表会・展覧会は演者と鑑賞者が混在した回答となっているため、活動の規模の全容は把握できない。



● 発表会・展覧会 ● 定期練習・定期活動 ● 会議

\* 単位は回答 (のべ)

## ⑤ 施設の利用状況

団体が利用する施設を把握します。また、主な複合対象施設である市民会館・文化会館に対し、利用の理由を把握するとともに、施設に対する意見をまとめます。

### ● 団体が利用する施設

文化会館を利用する団体が多い。その次には、市民会館と文化交流センター(アイビー・プラザ)が挙げられている。

#### <市民会館について>

### ● 市民会館を利用する理由

「利用に適した広さがある」と「これまで使ってきた施設だから」を利用の理由に挙げる団体は半数以上存在する。

### ● 市民会館に対する主な意見

利用料金の高さや設備に対する不満が挙げられた。また、スタッフの対応の良さを挙げる団体もいる。

#### <文化会館について>

### ● 文化会館を利用する理由

「立地の良さ」「料金の安さ」「利用に適した広さ」「スタッフの対応の良さ」「これまで使ってきた施設だから」を利用の理由に挙げる団体は半数程度存在する。また、他の理由に比べて、「遅くまで開館している」を理由に挙げる団体の割合はやや少ない。

### ● 文化会館に対する主な意見

駐車場の不足や予約の集中が挙げられた。また、設備や諸室に対する不満も挙げられた。

### 主な複合検討施設

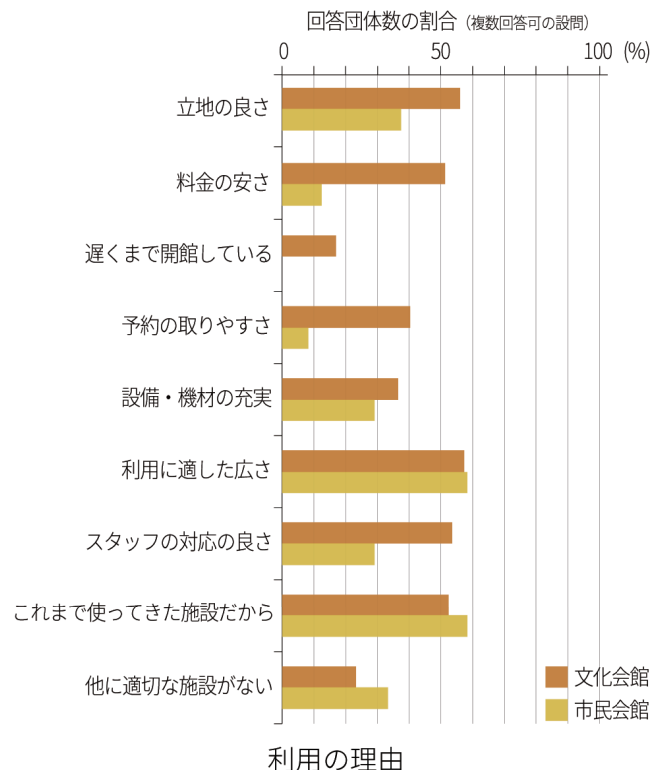
施設名	回答数(複数回答)
文化会館	82
市民会館	24

### その他の利用施設

アイビープラザ	28
市民活動センター	11
西小学校	4
中央図書館	4
総合体育館	4
男女平等参画推進センター	3
豊川 コミュニティセンター	3
沼の端コミュニティセンター	2
のぞみコミュニティセンター	2
住吉 コミュニティセンター	2
ココトマ	2
植苗ファミリーセンター	1
三ツ星本店ハスカップホール	1
苫小牧道新文化センター	1
美術博物館	1
第八区総合福祉センター	1
明野柳町総合福祉会館	1
グランドホテルニュー王子	1

### 市外の利用施設

新ひだか町公民館	1
札幌市民ギャラリー	1
島松公民館・里塚美しが丘地区センター	1



## 文化会館に対する主な意見

駐車場	常に駐車場が不足している。 駐車場が狭く遠いのが少々問題である。 80歳以上の市民が駐車する場合、利用時間を考慮した上で身障者スペースへの駐車を認めて頂きたい。
予約	最近、ホールの予約がなかなか取れず困っている。方法を再考して欲しい。 予約が取りにくい時がある。 前日に会場を借りないと、午前中からのリハーサルが出来ない。 行事があると予約が集中して取りづらい。 優先的に予約できるシステムがあるとよい。
設備	夏は換気が悪く、冷房も効かない。 エアコン（冷房）設備が無く、夏使いたくてもホールが暑いので使えない。 空調、クーラー設備を良くしてほしい（第3研修室の真夏は体調不良になるおそれがある）。 照明が暗いのが夜間利用に不便である。 スクリーンの設置、音響の設備が必要である。 コインロッカーが必要である。 窯が古く故障が多い。 今の窯は石油窯ですが、安全面からみても電気窯が望ましい。 棚板、ツク（支柱）等道具の破損品が多い。 備品（展示器具類、テーブル、イス等）数が不足したり、故障していることがある。数量、性能のチェックをしてほしい。 エレベーターが少し古い。 機械が時代遅れである。 窓から虫が入るので網戸があると良い。 演奏者用の譜面台を新しいものに更改してほしい。 茶室の水屋が狭く、ぶつかりながら歩いている。
諸室	廊下の音が室に入ってくる。 部屋の防音対策（出入口の防音等）、内装材等の充実が必要である。 和室が狭い。 リハーサル室（ピアノ付）が欲しい。 文化会館のホール客席が急に高くなっているので発表する側が困る。 客席からステージへの階段が段差が大きく不安である（特に高齢者）。 座席の奥行がもっと広ければ良い。 ステージ下手側の袖の面積が狭い。 あまりにも客席数が少なすぎる。 会場の座席数が多すぎるので、100～200席くらいだと妥当である。 側面の反響板がないので、音楽ホールとしては使えない。 音響面で舞台袖にも反響板があればいつも思う。 床に段差とすき間があり危険である。 床が滑りやすく困っている。 各階のフリースペースが充実（休憩コーナー等）するとよい。 練習室（鏡のある部屋）をもっと広くして頂きたい。 可能ならば、小さくてもグランドピアノの練習室が欲しい。 洗い場が遠いところが少し残念である。 大きな建物ほど災害等を考えて、複雑な構造にしない様にしてほしい。 老朽化が進んでいるため自然災害時に使用している場合、安全性に大きな不安を感じる。
スタッフの対応	スタッフ（受付・技術）の方の対応がとてもよい。 会館スタッフの方々の対応が親切丁寧で大変気持ちよく利用できる。 部屋の施錠は利用者側でなく施設側での対応が望ましい。

## 市民会館に対する主な意見

料金	使用料が高い（当日リハーサルも備品代がもう一度発生するのに納得いかない）。 もう少し利用料が安くなれば、もっと活用させてほしいと思っている。
設備	新しいホールではエアコンもつけてほしい。 冷房が必要である。 ステージの反響板をきちんとしてほしい。 コインロッカーが欲しい。
諸室	リハーサル室が必要。 市民会館は客席が多すぎる。1000席くらいの会場が良いと思われる。 トラックヤードが小さく、しかもドア1枚で外と舞台裏が筒抜けになってしまうので大きな行事（コンクールなど）で困ることが多い。 ステージ横（待機場所）のフローリングのきしみが気になる。 舞台裏の出入り口のドアが小さいので大型楽器が通り抜け出来ず困っている。
スタッフの対応	いつもスタッフの方々には良くしていただき、とても感謝している。

## ⑥ 利用交通機関

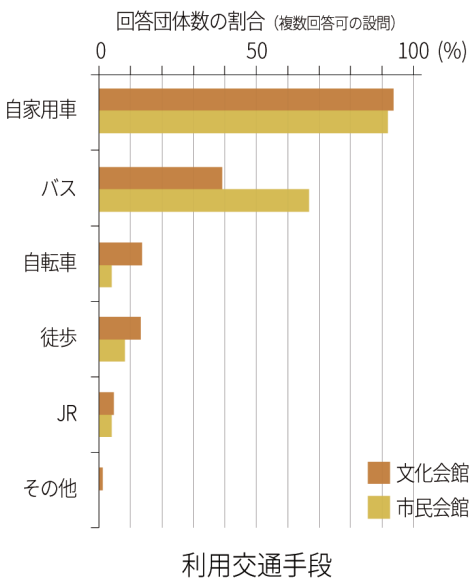
団体が利用する交通手段について把握します。

### ● 利用交通手段

自家用車を利用する団体は全体の90%程度を占める。また、その次にはバスが挙げられる。その他の交通手段は挙げられない。

### ● 交通機関の利用内訳

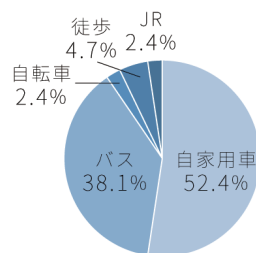
各交通手段の利用内訳を見ると、市民会館・文化会館共に自家用車が50%程度を占め、バスが市民会館では38.1%、文化会館では23.1%を占める。その他の交通手段の利用割合は低い。



### 交通手段の利用内訳

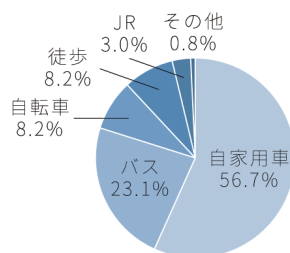
#### <市民会館>

交通手段	回答数	内訳 (%)
自家用車	22	52.4
バス	16	38.1
自転車	1	2.4
徒歩	2	4.7
JR	1	2.4
その他	0	0
合計	42	



#### <文化会館>

交通手段	回答数	内訳 (%)
自家用車	76	56.7
バス	31	23.1
自転車	11	8.2
徒歩	11	8.2
JR	4	3.0
その他	1	0.8
合計	134	



**(仮称) 苫小牧市民ホール建設基本計画**

---

平成 30 年 3 月

発行 苫小牧市市民生活部

編集 苫小牧市市民生活部

北海道大学大学院工学研究院 建築計画学研究室

---